

経営比較分析表（令和6年度決算）

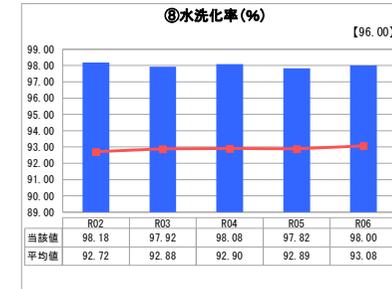
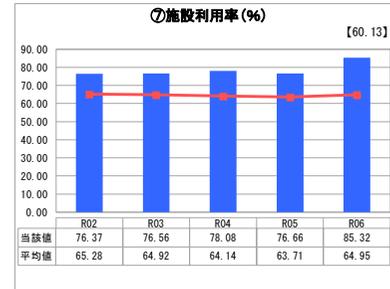
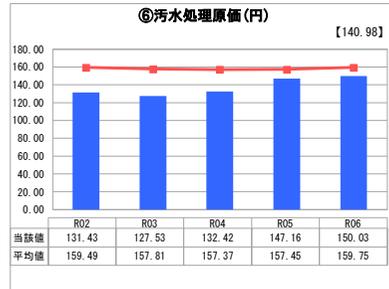
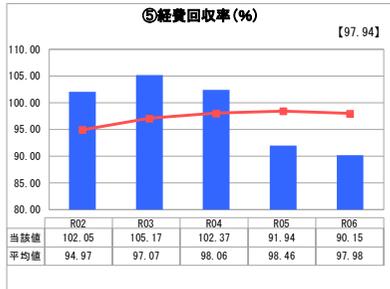
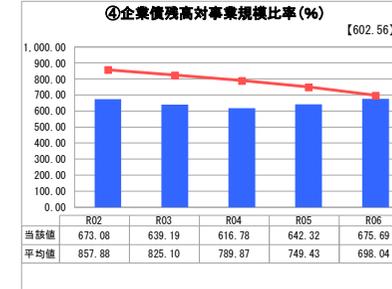
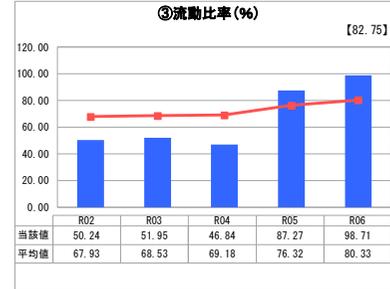
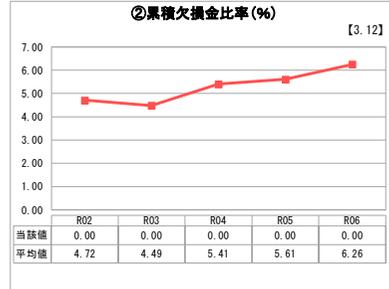
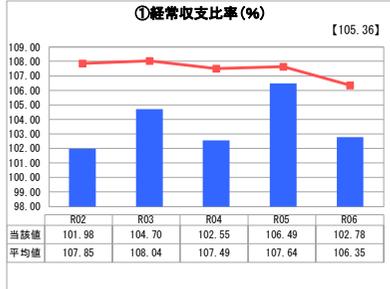
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.30	53.77	74.57	2,035

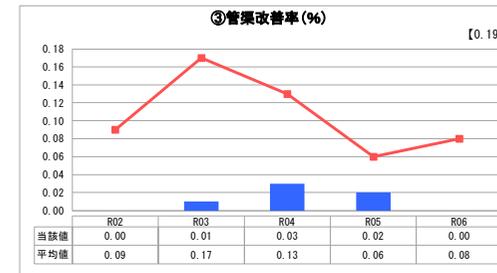
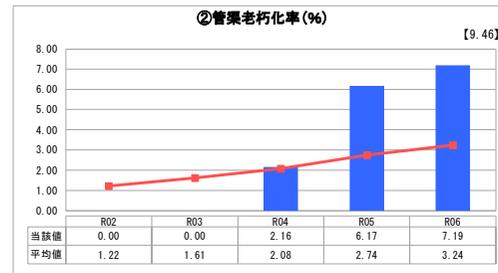
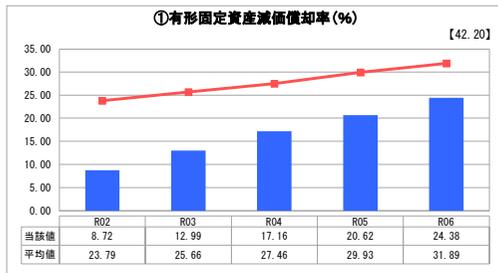
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,256	65.35	1,396.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
48,968	10.54	4,645.92

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を上回っているが、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等により指標が低下した。引き続き財源確保に努める。

②累積欠損金比率
累積欠損金は発生していないが、引き続き財源確保に努める。

③流動比率
100%を下回っており、経営戦略をもとに、収益性の確保に努める。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体の平均値を下回っているが、今後は施設更新及び管渠整備に伴い、企業債の借入が増加する見込みである。

⑤経費回収率
修繕費や委託料等の増加により汚水処理費が上昇しており、経費回収率が100%を下回った。

⑥汚水処理原価
類似団体の平均値を下回っているが、汚水処理費のさらなる増加が見込まれるため、それに対する財源確保に努める。

⑦施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。今後、未整備区域の整備を進めることで更なる利用率の増加が見込まれる。

⑧水洗化率
類似団体の平均値を上回っている。今後、下水道整備を進めるにあたり、速やかな接続を促進する。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っており、ストックマネジメント計画をもとに資産管理をしていく。

②管渠老朽化率
類似団体の平均値を上回っており、今後は耐用年数を超える資産がさらに増加するため、ストックマネジメント計画をもとに適切に資産管理をしていく。

③管渠改善率
類似団体の平均値を下回っており、今後は耐用年数を超える資産がさらに増加する。更新事業費の増加が見込まれるため、ストックマネジメント計画をもとに適切に資産管理をしていく。

全体総括

経常収支比率は100%を上回ったが、経費回収率は汚水処理費の増加により令和5年度に引き続き100%を下回った。施設の老朽化による修繕費の増加により汚水処理費を下水道使用料で賄っていない状況である。

今後は耐用年数を超える資産が増加することで更新事業費の増加、処理場等施設に係る修繕費の増加等が見込まれる。下水道使用料を改定することで収益性を確保し、将来にわたり持続可能で安定した事業運営を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。